

サマーセミナーでの経験

経営学部 2年 白川匠太郎

私は今回のサマーセミナーで様々な経験をし、私自身の成長につながるものがいくつもありました。初めての海外で見るのも全てが新しく感動した上にマレーシアの方々の温かさにとっても心を打たれました。このセミナーで感じたことが2点と、今後について思うことが2点ありました。感じたこととして、多文化故の生活様式です。日本とは異なるマレーシアでは食事も豊富で、いろんな施設に行くと参拝するための部屋などもありました。また、日本とは違いイスラム教徒が多いためか、お店で売られているお酒やタバコが高いのは新鮮でした。



2点目は思い切って動くことです。私自身英語は日常の挨拶程度の会話も出来ず、話すことも聞くこともできません。ですが、研修期間中とにかく色々な人に声をかけて交流をしていきました。話せないからといって引っ込んでいては何も得るものがないと思っていたからです。どんどん声をかけていくことで本当に少しずつですが会話ができるようになりました。翻訳機など使うこともありましたが、翻訳した文面をそのまま見せるのではなく自分の声という形で届け続けた事は結果的に相手にも気持ちがちゃんと届いたためよかったです。

今後について思うことは何個も思うことがありますが中でも2点あり、1点目は英語をもっと頑張ろうと思えたことです。研修期間の中でたくさん交流をしていくなかで、英語が出来たらもっと楽しいだろうなとどんどん思うようになりました。これからはいろんな国に行き楽しみたいし、日本に来た外国人の方に対して

さらに日本を楽しんでもらいたいので、この研修を機に英語を勉強して話せるようになりたいと感じました。

2点目は今の生活が当たり前と思わないことです。研修の中で孤児院に行きました。孤児院の子供達と遊んでいく中で複数人に囲まれるため全員を一度に相手をするのはできず相手できない子供たちが出てくるとその子供たちは悲しい顔をしており、何よりも足りないのは愛情だなと感じました。今両親がいて兄弟がいて研修に行ったメンバーを含め沢山の友達に囲まれているこの環境は何よりも恵まれている環境だと強く感じた瞬間でした。決して当たり前ではない現状に幸せを感じ、これから関わっていくみんなが笑顔でいてくれるように過ごしていきたいと感じました。この研修で出来た沢山の思い出や出来事を胸に今後活かしていきたいと思います。

